

## 補強鉄筋を後施工で挿入しコンクリート構造物のせん断耐力を向上

調査・計画

連立高架化

連立地下化

駅改良

単独立体  
(上空・地下)

耐震補強

ICT技術

### お客様のメリット

- 両端に摩擦圧接したプレート定着鉄筋の後挿入で、部材のせん断耐力が向上します。
- 背面に地盤がある地中構造物などでも、片側からのみの施工でせん断補強ができます。
- 特殊コアドリルや機械式継手の使用により、狭い作業空間でも適用可能です。

### 技術の特徴

コンクリート構造物にドリルで削孔した孔内に専用のモルタルを充填し、鉄筋の両端に定着性能向上のために摩擦圧接したプレートを有する「Post-Head-bar」を挿入して定着するせん断補強工法です。

片側からの施工が可能

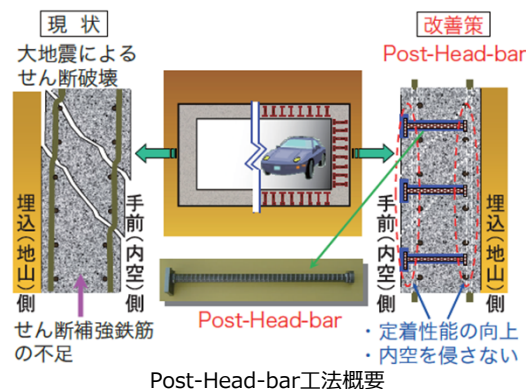
背面に地盤があり片側からしか施工できない地中構造物などに対して、部材の片側（内空側）のみからの施工が可能です。また、特殊コアドリルの使用により、狭い作業空間でも適用可能です。

既設部材に埋設

Post-Head-bar は既設部材に埋設されるため内空を侵すことがなく、かぶり部分によって腐食に対する抵抗性が確保されます。

多様な Post-Head-bar の種類

施工条件に応じて、片端矩形プレート型、両端円形プレート型、機械式継手型の Post-Head-bar から選択でき、幅広い鉄筋種類および鉄筋径に対応していることから合理的なせん断補強工事が可能です。



(a) 片端矩形プレート型



(b) 両端円形プレート型



(c) 機械式継手型

Post-Head-bar の種類

### 社外表彰

2010年 土木学会賞 技術開発賞：（公社）土木学会 他1件

（一財）土木研究センター：建設技術審査証明（建技審証第0522号）取得

NETIS 登録：KT-090022-V

### 実績・実例



PHb ドリルによる削孔



Post-Head-bar の挿入

施工実績

2025年10月1日現在

対象施設	施工件数
道路・地下街	98件
浄化センター（ポンプ場合）	527件
鉄道	11件
浄水場	197件
水門	240件
排水機場	71件
排水路	29件
発電所・プラント	36件

施工中案件も含む合計：1,209件 2,047,000本以上



▲プレスリリースはこちら